

学校だより

7月号



三中HP  
アクセス  
QRコード

# それゆけ三中

令和4年 7月6日  
足利市立第三中学校  
生徒数：210名  
発行者：高木秀和

教育目標：より確かに・より豊かに・より遅しく

生涯学習センターや助戸公民館に行く際、路上に佇む紫陽花の彩色に見惚れます。濃い紫、濃い青の紫陽花を錦町の路上で見つけました。袋川の辺には朝陽をはね返す白色の紫陽花に元気をもらいました。教室では扇風機とエアコンが活躍しはじめ、紫陽花の季節も過ぎ、梅雨も明けました。昨年は梅雨明け宣言の6月30日の朝、三中の正門付近で蝉の声を聞きましたが、今年はまだ耳にしていません。夏を前に特別支援学級では校内の畑に育ったジャガイモを収穫しました。葉の湿り、土の匂い、ごろっと重みのあるジャガイモの実、直に手で触れ、鼻孔にさまざまな香りを感じながらの体験を生徒達は楽しんでいました。



## 県春季体育大会 6/2(木)~5(日)、19(日) 地区春季大会 水泳 6/21(火)



### 県春季体育大会

県内の各会場で、選手全員が日頃の練習の成果を十分に発揮し、熱い戦いを繰り広げました。どの競技を見ている感じるのは、県大会というステージに立った一人一人が「試合」に真摯に向かうと同時に、その部活動の競技自体を存分に楽しんでいる、目の輝きです。今回は県大会を終えての皆さんの感想を紹介します。

**卓球部、■さん**：あまり良い結果を残せなかったが、個人、団体、チームとして多くの課題が見つかるいい機会になった。

**男子バレー部、■くん**：今のチームになりたての頃より成長した。バレーらしいバレーができるようになった。

**バドミントン部、■くん**：周りのレベルが高い。分厚い壁を感じた。いろいろと学ぶことが多かったので、一つ一つ吸収して次に生かして生きたい。**■くん**：県と地区のレベルの差がわかった。次の団体戦では3位以内に入れるように頑張りたい。

**ソフトテニス部、■さん**：自分たちと比べものにならないくらい強かった。接戦が続く中、おいしい所でポイントを取られてしまった。**■さん**：負けてしまったけど悔いのない試合ができた。また、次の大会に生かしたいことが得られた。

**体操競技、■さん**：初めての中学校の県大会で緊張したけど、練習をしてきたことは全て発揮できた。(平均台、床、第4位)

### 地区春季大会 水泳

市営グラウンドの屋外プールで水泳の春季大会が開催されました。2年生**■くん**、1年生**■さん**、**■さん**が出場し県大会出場を決めています。3人の力泳は見事でした。



### レスリング大会 優勝



さくら市で5/29(日)に開催された県のレスリング大会で、3年の**■くん**が、中学生男子の部63kg級で優勝しました。おめでとうございます。**■くん**は小学生の頃からレスリングに打ち込んでいます。今回の大会では、練習の成果を発揮し自分らしい試合ができたそうです。



### 1年 防災共育ワークショップ 6/10(金)



PTAのOB会、**■さん**を中心に、OB会やPTA役員さんのご協力のもと、水害に対応するためのワークショップを開催しました。タブレットを活用し、自分の家を中心に各生徒が災害への危機意識を高くもって臨めました。足利市役所提供のハザードマップや河川水位情報をいかに活用すべきか等、実践的なことをより有効に学習できました。



## 1年 遠足 那須高原 6/13(月)



突き抜ける青空と陽光をはね返す木々の新緑、1年生のバス遠足は天候に恵まれた一日となりました。那須高原では、午前中にソーセージ・バターづくり体験をクラス毎に行いました。友達と協力して作ったソーセージ、バターは格別でした。また、午後は班別行動で、モルモット触れあい体験、山羊餌やり体験、乗馬体験、魚釣り体験の中から2つを選んで楽しみました。動物と触れあう優しい喜び、釣りをワクワクしながら見つめる期待感、そして、青空の下頬張る、鮎の塩焼きやソフトクリームは「少年時代」、まさに初夏の思い出、自然を友達と共に満喫した1日でした。

## 3年 修学旅行 京都・奈良 6/11(土)~13(月)



今年度は計画どおりの日程と内容で修学旅行が実施できました。昨年のバス旅もよさもありましたが、やはり新幹線がホームに入ってくる勇姿には皆声をあげていました。1日目の奈良は小雨。薬師寺、東大寺を巡る中、灰雲と仏閣にそそぐ細い雨は古都に風情を添えていました。2、3日目は快晴で風も心地よく嵐山では、班別行動を楽しみました。特筆すべきは、妙心寺での座禅体験です。バスを降りてから座禅の道場に入りバスに戻るまでの約1時間、全員が無言でした。住職さんに、「ここは修行の場、寺に入ったら私語は謹んでください」と言われたのを、素直に守りました。何故か、誰ともなく第一ボタンを閉め出し、襟元も正していました。この行動に、住職さんはたいそう感心しお褒めの言葉をいただきました。3年生の行動を誇りに思います。ただ、次の金閣寺につ

いても皆、無言で、「もうしゃべっていいんだよ」と主任に言われほっとしている姿にはほのぼのしました。

## PTA球技大会 6/5(日)

保護者と教職員が共に汗を流して交流し、親睦を深めることでよりスムーズな教育活動の連携ができます。そんな意義も含め、PTA球技大会が3年ぶりに開催できたことを大変喜ばしく思います。6/3(金)には事前の練習会も行いました。練習会から多くの保護者様に参加していただき、また、当日は親睦の中にも熱い試合が展開されました。ご協力ありがとうございました。



## 小中連絡会 6/24(金)

中学生になっての様子を参観する行事が、小中連絡会です。小学校を卒業して、まだ3ヶ月ですが、小学校の先生方は、1年生皆さんの成長ぶりに驚いていました。中学校では、制服(授業参観時は体育着)ということで、見かけの違いもありますが、皆さんの表情や、授業に取り組む姿を見て「さすが中学生」と感じたそうです。このお言葉を嬉しく思います。



**ある日の出来事(実話) その一** 修学旅行の「しおり読み合わせ」のあった日のことです。読み合わせの会場は4階のオープンスペースでした。昼休みも10分程過ぎたころ、3学年主任は準備をするために会場に向かいました。4階の廊下を進んでいくと目に入ったのは、綺麗に並べられたスチール製の折りたたみ椅子でした。会場の奥では、3年生の女生徒2名が未だ並べている姿が見えました。ふと、椅子を出す予定だったのかなと手元にあった計画書を確認しましたが、クラスごとにフロアに座るとなっていました。「・・・〇〇さんと〇〇さん、ご苦労様、これ担任の先生に頼まれたのかな？」声をかけると、椅子を並べていた2人は主任に気づいて、ちょっと気まずそうにお互い顔を見合わせました。小声で二言、三言交わしてから、主任の方に向き直りました。「・・・直接床に座ると、みんなお尻が痛くなると思って、・・・ここには椅子もたくさんしまっているから、・・・勝手に椅子を出してしまってもすみませんでした、終わったきちんと元にもどします」。「・・・えっ？」主任は、一瞬、予想外の返答に戸惑いましたが、すぐに他の人を思う気持ちが嬉しくなり、お礼を言いました。「いや、謝らなくていいのよ、みんなのためにありがとうね、確かに、椅子の方が長時間でも集中して話を聞けるから助かりました」。その後、椅子を並べ終わった二人は、一脚一脚丁寧に拭きまわりました。5校時のしおり読み合わせの最後に主任は、2人が話を聞きやすいようにと思いつき椅子を出してくれたこと、また、自分たちの考えて出したので終わったら放課後に自分たちで片付けるつもりであることを3年生全体に話しました。5校時に合わせて集合した生徒は皆、そこに並べられていた椅子になんら思うこともなく腰を降ろしていましたので、主任の話は意外でした。「並べてくれた人がいたんだ、」という思いに、主任の話が終わると自然と拍手が会場を包みました。そして、5校時が終わると、一人一人が自分の座っていた椅子をたたみ、ケースに戻してから教室へ向かいました。会場は椅子を並べる前の状態に戻り、2人の生徒は先ほど干した雑巾を用具庫に戻してから会場を出ました。遠のいて行く2人の姿が、ふとかすんだのは教室の窓から差し込む陽光に包まれたからではなく、会場を出る際に2人がぼつりとつぶやいた、「先生、ありがとうございました」という言葉が主任の目頭を熱くさせたせいでした。3年 ■■■さん、■■■さん



かぜ 風ぬるく ちへいっ 地平突く青 ちへいっ 葉のひかり ちへいっ 虫の音響き ちへいっ 朱落つ水路

